

(参考) 「改革シナリオ」について

【改革の方向性】

- 機能分化の徹底と連携の更なる強化、居住系・在宅サービスの更なる拡充。
- 施設への入所は重度者中心。施設におけるユニットケアが普及。
- 小規模多機能、24時間対応の定期巡回・随時対応サービス、グループホームの充実。

【介護サービスの需要と供給（1日当たり利用者数等）・介護職員の見込み】

		2011年度	2020年度	
			現状投影シナリオ	改革シナリオ
介護サービスの 見込み (1日当たり 利用者数等)	介護施設	92万人/日	139万人/日	120万人/日
	特養	48万人/日	74万人/日	65万人/日
	老健(老健+介護療養)	44万人/日	65万人/日	54万人/日
	居住系	31万人/日	45万人/日	48万人/日
	特定施設	15万人/日	22万人/日	21万人/日
	グループホーム	16万人/日	24万人/日	27万人/日
	在宅介護	304万人/日	391万人/日	405万人/日
	うち小規模多機能	5万人/日	7万人/日	20万人/日
	うち定期巡回・随時対応	—	—	5万人/日
介護職員の見込み		140万人	188~198万人	201~211万人